

経

験

発

表

開発エンジニアが どうしてソフトウェアテストに 関心を持ったのか

九州ソフトウェアテスト勉強会

木下 真哉

10年間、ずっと開発ばかりやっていたエンジニアが
ソフトウェアテストに関心を持ち、JSTQB Foundation
Levelの取得やテスト設計コンテストへ参加するようになる
までのお話をします。

- 氏名： 木下 真哉 (きのした しんや)
- 生年月日： 1981年1月20日 (34歳)
- 職業： ソフトウェアエンジニア
- 略歴： 開発業務を12年ほど経験。WebシステムやiOSアプリの開発に従事。テストに関しては単体テストがメイン。
- SNS： facebook: <https://www.facebook.com/shinya.kinoshita.31>
twitter: <https://twitter.com/shinya16jp>
wantedly: <https://www.wantedly.com/users/901732>

楽しくない

めんどくさい

仕様書の内容通りに 動くことを確認するもの

仕様書に書かれている内容を満たしていても**バグ**は発生する

→ テストのやり方が悪いのかと考える。

→ テストの内容に問題があるのではないかと考える。

テストの手法を知らない

テスト自動化への取り組み

- テストコードを作成することで、プログラミング感覚でテストができる。
- 一度、テストコードを書いてしまえば、繰り返しテストができるようになるので、めんどくさいが解決できる。

情報収集の限界

九州ソフトウェアテスト勉強会の存在

- Facebookの「福岡IT関連勉強会」グループで「九州ソフトウェアテスト勉強会」というコミュニティがあることを知る。
- ソフトウェアテストに詳しい人達が活発に議論している。

これはチャンスだ！！

勉強会への参加

- ソフトウェアテスト界隈で有名な方々からソフトウェアテストの手法を学ぶ。
- JSTQBというソフトウェアテスト技術者の認定資格があることを知る。
- テスト設計コンテストという「テスト設計のノウハウやテスト設計の実例などの成果物を公開／共有する」ためのコンテストがあることを知る。

JSTQB Foundation Levelの取得

- ソフトウェアテストの知識を資格取得を通じて身につけようと思い、勉強する。
- JSTQBのシラバスからソフトウェアテストの知識を学ぶ。

テスト設計コンテストへの参加

- 今持っている知識でどのぐらいのことができるのかを試したくて参加。
- 「**テストアーキテクチャ**」という言葉をはじめて聞き、困惑する。
- 「**テストは設計するもの**」であることを学ぶ。

ロジック(アルゴリズム)の大切さ

- ソフトウェアテストを効率良くするためには、ソフトウェア側のロジック(アルゴリズム)をいかにシンプルにできるかが大事。

テストは設計するもの

- ソフトウェアテストは開発と同じで設計が必要。
 - テスト観点、テストアーキテクチャ、テスト手法の選定 etc.

- テストを楽しめるしくみを作ること、開発エンジニアもテストに興味を持つようになる。
- ソフトウェアテストを学ぶためのコミュニティの存在は大事。